

各位



## 国内初 次期勘定系システムの オープン系共同利用型クラウド基盤の適用について



株式会社池田泉州銀行（頭取CEO 鶴川 淳）は、地銀共同センター<sup>\*1</sup>参加行と株式会社NTT データ（以下「NTT データ」）とともに、次期勘定系システム基盤に関して、国内初となるオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」とする方針を確認し、2028 年の第一号の適用に向け、今後、参加行と協力して取り組みを進めてまいります。

当行を含む地方銀行 13 行からなる地銀共同センターでは、NTT データと共に「オープン基盤」、「業務アプリケーション継承」、「コミュニティクラウド」の3つの基本方針に沿って次期勘定系システム基盤の検討を進めてきましたが、この度、国内初となるオープン系共同利用型基盤である「統合バンキングクラウド」上に勘定系システム基盤を適用・構築していくことといたしました。これにより、より安心・安全なシステムを利用しつつ、オープン化による勘定系システムの軽量化を図るとともに経営資源を戦略領域に集中することで、お客様に付加価値の高いサービスの提供を目指します。

この取り組みは、地銀共同センターと横浜銀行をはじめ地方銀行 6 行からなる MEJAR<sup>\*2</sup>とのシステム・ワーキンググループ（以下「CMS-WG<sup>\*3</sup>」）の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取り組みの一環で、2024 年 1 月に PITON<sup>®</sup><sup>\*4</sup>を採用してオープン基盤に移行した MEJAR の先行事例等も取り入れることにより、システム移行についても安心・安全に実現可能なスキームとなっております。

地銀共同センターの勘定系システムは、2028 年に第一号となるオープン系共同利用型基盤「統合バンキングクラウド」の適用を目指し、引き続き、「CMS-WG」の中で勘定系システムに留まらない付加価値の高い共同利用型のサービス提供に向けた検討を継続します。

当行は、今後も経営資源の効率化を図るとともに、お客さまのニーズへお応えするため、利便性ならびにサービスの向上に取り組んでまいります。

### 地銀共同センター参加行（13行）



### MEJAR参加行（6行）



※広島銀行は2030年度共同利用開始予定

# NTT DATA

※1 地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）

京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、

秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行

※2 MEJAR…NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）

横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行、広島銀行（2030年度 共同利用開始予定）

※3 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）…システム関連で親和性のある  
両グループがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場。

※4 PITON<sup>®</sup>（ピトン）…NTTデータが開発したメインフレーム向けに開発されたアプリケーションを、オープン系の  
基盤上で稼動可能とするフレームワーク

以 上

当行はプレスリリースに関連する  
SDGs 17 のゴールのアイコンを  
掲載しております。

